

令和2（2020）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	マクロ経済学演習（Macroeconomics Exercises）392067-14120					担当教員	石川英樹（イシカワ ヒデキ）		
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	4	配当年次	2年次	開講期	通年
科目特性	知識定着・確認型AL / 資格対応科目								

① 授業のねらい・概要									
授業は、ERE（経済学検定試験）の受験に向け、マクロ経済学の知識を深めることを目的とする。ERE（経済学検定試験）は全国レベルで各自の経済学の習熟度を客観的に知ることができる検定である。企業が採用時に活用している例もあり、注目度が高まっている。そのEREに対応した学びを深めたい。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
専門的知識・技能を活用する能力を育成する授業である。									
③ 授業の進め方・指示事項									
前期については YouTube 配信を中心としたオンライン授業を実施する。1年次に学習したマクロ経済学の知識の確認と、ERE（経済学検定試験）などの問題演習を中心に講義を進める									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
「マクロ経済学」「ミクロ経済学」「ミクロ経済学演習」									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
(i) 国民所得決定理論の演習問題を理解できる。									
(ii) 消費・投資・貨幣市場の演習問題を理解できる。									
(iii) 総需要・総供給・経済成長の演習問題を理解できる。									
(iv) 現実社会での経済問題について自ら判断し考察できる。									
⑥ テキスト（教科書）									
西村和雄・八木尚志(2008)『経済学ベーシックゼミナール』実務教育出版									
⑦ 参考図書・指定図書									
必要に応じて授業中に随時紹介する。									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法									
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計	
総合評価割合	25%	10%	35%			30%		100%	

(i) 国民所得決定理論の演習問題の理解			20%			10%		30%
(ii) 消費・投資・貨幣市場の演習問題の理解	5%		15%			10%		30%
(iii) 総需要・総供給・経済成長の演習問題を理解	10%	5%				5%		20%
(iv) 現実社会の経済問題の判断・考察	10%	5%				5%		20%
フィードバックの方法	前期末試験結果、小テスト結果は返却して解説する。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
時間中にできるだけ多く演習問題に取り組めるよう工夫する。

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	オリエンテーション	教科書、筆記用具	1年次「マクロ経済学」全般の復習	60分
2	国民所得統計とGDP	教科書、筆記用具	教科書13章P.225～233の予習と練習問題の復習	60分
3	.GDPの諸概念	教科書、筆記用具	教科書13章P.233～238の予習と練習問題の復習	60分
4	.物価指数	教科書、筆記用具	教科書13章P.238～242の予習と練習問題の復習	60分
5	財市場の分析	教科書、筆記用具	教科書14章P.243～248の予習と練習問題の復習	60分
6	45度線分析	教科書、筆記用具	教科書14章P.248～252の予習と練習問題の復習	60分
7	乗数効果～投資乗数、財政支出乗数	教科書、筆記用具	教科書14章P.252～257の予習と練習問題の復習	60分
8	乗数効果～租税乗数	教科書、筆記用具	教科書14章P.257～264の予習と練習問題の復習	60分
9	IS曲線とLM曲線	教科書、筆記用具	教科書15章P.265～272の予習と練習問題の復習	60分
10	IS-LM分析の基本	教科書、筆記用具	教科書15章P.273～278の予習と練習問題の復習	60分

11	IS-LM 分析の応用	教科書、筆記用具	教科書 15 章 P.278～284 の予習と練習問題の復習	60 分
12	IS-LM 分析と経済政策	教科書、筆記用具	教科書 15 章 P.284～286 の予習と練習問題の復習	45 分
13	ケインズ型消費関数	教科書、筆記用具	教科書 16 章 P.287～291 の予習と練習問題の復習	60 分
14	消費関数に関する三大仮説	教科書、筆記用具	教科書 16 章 P.291～299 の予習と練習問題の復習	60 分
15	消費に対する効果	教科書、筆記用具	教科書 16 章 P.299～304 の予習と練習問題の復習	60 分
16	投資の限界効率、加速度原理、資本ストック調整原理	教科書、筆記用具	教科書 17 章 P.305～313 の予習と練習問題の復習	60 分
17	トービンの q 理論と新古典派の投資理論	教科書、筆記用具	教科書 17 章 P.314～317 の予習と練習問題の復習	60 分
18	貨幣供給	教科書、筆記用具	教科書 18 章 P.319～327 の予習と練習問題の復習	60 分
19	貨幣需要	教科書、筆記用具	教科書 18 章 P.328～335 の予習と練習問題の復習	60 分
20	公債発行の効果	教科書、筆記用具	教科書 18 章 P.336～340 の予習と練習問題の復習	60 分
21	AD 曲線の導出	教科書、筆記用具	教科書 19 章 P.341～347 の予習と練習問題の復習	60 分
22	AS 曲線の導出	教科書、筆記用具	教科書 19 章 P.347～353 の予習と練習問題の復習	60 分
23	AD-AS 分析	教科書、筆記用具	教科書 19 章 P.354～358 の予習と練習問題の復習	60 分
24	期待形成仮説	教科書、筆記用具	教科書 20 章 P.359～367 の予習と練習問題の復習	60 分
25	フィリップス曲線	教科書、筆記用具	教科書 20 章 P.367～372 の予習と練習問題の復習	60 分
26	IAD-IAS 分析	教科書、筆記用具	教科書 20 章 P.372～376 の予習と練習問題の復習	60 分
27	景気循環とハロッド=ドーマ一理論	教科書、筆記用具	教科書 21 章 P.377～385 の予習と練習問題の復習	60 分
28	新古典派経済成長理論	教科書、筆記用具	教科書 21 章 P.386～395 の予習と練習問題の復習	60 分
29	成長会計	教科書、筆記用具	教科書 21 章 P.395～395 の予習と練習問題の復習	45 分

30	ふりかえり、まとめ	教科書、筆記用具	配布プリントの練習問題の予習・復習	60分
----	-----------	----------	-------------------	-----

⑪ アクティブラーニングについて				
知識定着・確認型 AL を採用する。ERE（経済学検定試験）の過去問の演習を行うとともに、関連する演習問題の解説を行う。				

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の概要				
平成 4（1992）年 6 月～平成 16（2004）年 3 月に(財)国民経済研究協会に在籍し、企業環境研究センター、経済産業研究部の研究員として、マクロ経済の調査分析業務および経済・産業予測等の調査レポート作成業務に従事した。				
実務経験と授業科目との関連性				
本授業は、マクロ経済理論の応用として、数値データを含む演習に取り組む。マクロ経済の理論の理解にとどまらず、具体的な数値を用いた演習能力の育成を目指している。現実のマクロ経済データをもとに調査分析を遂行した能力を、数値を用いた演習の指導に大いに発揮していきたい。				